

平成29年度
八女市社会福祉協議会事業報告書

社会福祉法人
八女市社会福祉協議会

平成29年度 事業報告書

1 事業の概要

近年、地域における「つながり」「絆」の大切さが見直され、その再構築に向けて官民一体となった取り組みが求められている。

これらを背景に、本会では地域福祉を一層推進するため、部署を越えた横断的な取り組みをはじめ、行政や他の福祉施設・事業所、ボランティア等との協働による地域づくりを図ることを目的に、市の「第2次地域福祉計画」及び本会の「第2次地域福祉活動計画」を一体的に策定した。

また、介護保険制度の改正にともなう新しい地域支援事業の実施に向けて、ボランティア等の様々な担い手による地域の助け合い活動を加えたサービス等について共通認識を図るため、部署を越えた研修会や会議を開催した。

さらに、生活支援コーディネーターを中心に、住民が本市に住んでよかったと思える地域づくりを主体的に考え、積極的に参加し、課題解決に向けて活動する小地域福祉活動とあわせて、生活困窮者等の困難な課題を把握し、解決に向けた取り組み（社会福祉法人連絡会、フードバンク事業、子ども食堂支援等）を推進した。

平成29年7月の九州北部豪雨災害については、朝倉市と東峰村災害ボランティアセンターの運営支援に、本会職員を派遣するとともに、災害ボランティア活動を希望される八女市民の参加を促進し、平成24年7月九州北部豪雨災害時に受けた各地からの支援に対する恩返しと、被災地の方々の一日も早い復興のため、積極的な取り組みを実施した。

平成29年度の主な実施事業は、以下のとおりである。

2 重点事業

- (1) 総合的な相談支援体制づくりの基盤整備（P2～3、P8～9）
 - ① 福祉総合相談センター事業をはじめ、ふれあい福祉相談センター等の実施による関係機関との連携強化及び多様化した生活課題に対する横断的な相談支援の実施
 - ② 八女市内25の社会福祉法人による地域における公益的な取り組みに向けての協議
- (2) 小地域福祉活動の推進（P3～4、P6）

福祉部会や福祉委員及び見守り連絡員、ふれあいサロン活動の支援等、住民参加による小地域福祉活動の推進
- (3) 生活困窮者支援の推進（P8）

生活困窮者への課題解決に向けた関係機関との相談支援事業や各種福祉資金の適切な運営を通じた連携及びフードバンク事業、子ども食堂支援、学習支援活動の推進。
- (4) ボランティアによる社会参加の推進（P11～12）

ボランティアセンター機能によるコーディネート等を通じた社会参加の推進。
- (5) 介護予防事業の推進及び生活課題解決モデルの開発等（P13～17）

継続した介護予防活動支援事業の実施によるボランティアの育成と生活支援コーディネーターによる買物困難者支援の仕組みづくり（矢部地区）の推進
- (6) 権利擁護事業の充実（P17～18）

認知症高齢者、しょうがい者の福祉サービス利用手続きや日常的な金銭管理等による権利擁護の充実

3 各事業の実績報告

(1) 総務部門

① 各種会議の実施

- ア 理事会の開催 8回（内臨時理事会1回）
- イ 三役会の開催 4回
- ウ 評議員会の開催 5回
- エ 監査の実施 4回（5日間）
- オ 委員会の開催
 - 特別養護老人ホームゆいのもり入所検討委員会 4回
 - 地域福祉活動計画策定委員会 4回
 - 評議員選任・解任委員会 1回
- カ 理事監事役員研修の開催 2回
- キ 職員全体研修会の開催 2回

② 社協会費及び寄附金の状況

ア 社協会費

	今年度		前年度		増減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
住民会費	19,650件	3,930,000円	19,621件	3,924,200円	29件	5,800円
特別会費	1件	6,000円	1件	6,000円	0	0
合計	19,651件	3,936,000円	19,622件	3,930,200円	29件	5,800円

イ 寄附金

	今年度		前年度		増減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
香典返し寄附	406件	13,190,000円	382件	11,436,000円	24件	1,754,000円
一般寄附	11件	5,127,182円	11件	1,231,961円	0	3,895,221円
指定寄附	0	0	2件	363,850円	△2件	△363,850円
合計	417件	18,317,182円	395件	13,031,811円	22件	5,285,371円

(2) 地域福祉活動推進部門

① ふれあいのまちづくり事業

ア 各種相談の実施

○ ふれあい福祉センター相談実施

(件)

本所／支所	本所	黒木支所	上陽支所	立花支所	合計
心配ごと相談	第1・3水曜日	第1・3水曜日	第2・4水曜日	第2・4水曜日	29
相談件数	13	6	6	4	
前年度件数	12	11	6	4	33
比較増減	1	△5	0	0	△4

法律相談	第2金曜日	第3金曜日	第4金曜日		98
相談件数	42	35	21		114
前年度件数	44	40	30		△16
比較増減	△2	△5	△9		
司法書士相談	第3金曜日	第2金曜日			23
相談件数	16	7			21
前年度件数	17	4			2
比較増減	△1	3			

○ 福祉総合相談センター

(件)

相談区分	高齢者	一人親家庭	児童	しょうがい	生活困窮	その他	合計
本所	51	2	7	26	111	31	228
上陽	79	1	0	4	1	2	87
黒木	31	1	1	40	5	5	83
立花	54	0	0	14	8	6	82
矢部	89	0	0	6	7	10	112
星野	99	0	0	8	9	13	129
合計	403	4	8	98	141	67	721
前年度件数	132	9	2	19	26	9	197
比較増減	271	△5	6	79	115	58	524

○ 心配ごと相談員研修会の開催及び研修会参加状況（前年度2回実施／比較増減1回）

期 日	研修種類	内 容	参加者
6月15日（木）	内部研修	「対人援助と傾聴」	16名
10月18日（水）	外部研修	「災害に関する法律相談」	9名
2月 5日（水）	内部研修	「法テラスの概要と最近の相談事例」	15名

② 小地域福祉活動の推進

身近な生活圏域で、さまざまな生活課題に対して、住民が力を合わせて解決を図るとともに、住民の主体的な参加による小地域福祉活動の推進に努めた。

ア 福祉部会設置数

(箇所)

圏域	まち協設置数	福祉部会設置数	前年度設置数	比較増減
八女	8	1	0	1
上陽	1	1	1	0
黒木	6	6	5	1
立花	4	1	1	0
矢部	1	0	0	0
星野	1	1	1	0
合計	21	10	8	2

イ 福祉のつどい等福祉啓発事業活動数 (回)

圏域	まち協設置数	活動数	前年度活動数	比較増減
八女	8	5	3	2
上陽	1	1	1	0
黒木	6	2	2	0
立花	4	1	0	1
矢部	1	0	0	0
星野	1	1	1	0
合計	21	10	7	3

ウ 福祉ネットワーク推進委員会設置数 (箇所)

圏域	設置数	前年度設置数	比較増減
八女	0	0	0
上陽	2	1	1
黒木	39	39	0
立花	9	8	1
矢部	0	0	0
星野	0	0	0
合計	50	48	2

エ 福祉委員設置数 (人)

圏域	設置数	前年度設置数	比較増減
八女	1	0	1
上陽	31	31	0
黒木	92	90	2
立花	41	33	8
矢部	0	0	0
星野	0	0	0
合計	165	154	11

オ 見守り連絡員設置数 (人)

圏域	設置数	前年度設置数	比較増減
八女	0	0	0
上陽	133	131	2
黒木	253	227	26
立花	139	120	19
矢部	0	0	0
星野	0	0	0
合計	525	478	47

カ 福祉委員研修会の開催（前年度2回実施／比較増減0）

期 日	実施校区	内 容	参加者
4月20日（木）	黒木	講義「これからの小地域福祉活動のために」／福祉委員活動報告「黒木・大淵地区の福祉委員」	福祉委員84名 民生委員児童委員 31名
6月29日（木）	上陽	講義「認知症になっても住みよい街へ」	60名

キ 校区（地区）福祉のつどいの推進

期 日	開催校区（地区）	つどい名	参加者
6月 4日（日）	上妻	第10回上妻まつり	700名
6月22日（木）	星野	そよかぜ健康と福祉のつどい	85名
8月 5日（土）	北山	第11回 踊る！北山夏祭り	1,000名
10月 1日（日）	豊岡	豊岡地区福祉のつどい	400名
10月15日（日）	上陽	上陽地区福祉のつどい	87名
11月 4日（土）	八幡	第23回八幡ふれあい広場	多数
11月11日（土）	川崎	かわさきよか祭り	多数
11月19日（日）	忠見	忠見校区芸能大会	多数
12月10日（日）	笠原	笠原地区福祉のつどい	100名
2月25日（日）	岡山	岡山校区福祉のつどい	95名

ク 他市町の小地域福祉活動研修の視察受け入れ（前年度0／比較増減2回）

期日・会場	団体名	内 容	参加者
7月18日（火） 黒木支所	太宰府市社会福祉協議会	小地域福祉活動について 黒木町福祉委員活動報告	32名
8月29日（火） 星野支所	うきは市山春地区自治協議会健康福祉部会	星野村の暮らしと地域活動について	30名

③ 地域福祉活動計画策定

平成30年度からの5ヵ年計画となる第2期の地域福祉活動計画を八女市が策定する地域福祉計画と一体化して取り組み、八女市福祉課と事務局体制を確立し連携を図りながらワークショップや作業部会を設置し、社協の取り組みに関する素案づくりを行った。

ア 策定作業実績

期 日	内 容
4月10日（月）	事務局打ち合わせ
4月28日（金）	ワークショップ打合せ
5月24日（水）	第1回ワークショップ
6月 1日（木）	ワークショップ打合せ
6月14日（水）	第2回ワークショップ
6月26日（月）	事務局打ち合わせ
6月28日（水）	第3回ワークショップ
7月10日（月）	事務局打ち合わせ
7月26日（水）	第4回ワークショップ
8月 3日（木）	事務局打ち合わせ
8月18日（金）	ワーキングチーム会議

9月 1日（金）	第1回策定委員会
9月11日（月）	第1回作業部会
9月14日（木）	作業部会4班会議
9月15日（金）	作業部会1班会議、作業部会3班会議
9月19日（火）	事務局打ち合わせ
9月20日（水）	作業部会2班会議
9月21日（木）	作業部会2班会議
9月22日（金）	作業部会1班会議、作業部会4班会議
9月25日（月）	事務局・班長会議
9月26日（火）	第2回作業部会
9月29日（金）	事務局打ち合わせ
10月 5日（木）	ワーキングチーム会議
10月16日（月）	第3回作業部会
10月31日（火）	ワーキングチーム会議
11月13日（月）	第2回策定委員会
12月11日（月）	第3回策定委員会
12月25日（月）～ 1月26日（金）	パブリックコメント
2月23日（金）	第4回策定委員会
3月16日（金）	市長・社会福祉協議会会長へ計画策定報告

イ ワークショップの実施

- 高齢者福祉・介護分野、児童福祉・子育て支援分野、しょうがい福祉分野、生活困窮者支援分野の4つのグループに分かれ、住民アンケートを除く各調査結果の仕分けを行いながら、現状課題を整理し、計画に盛り込むべき取り組みと役割分担について協議した。

ウ 作業部会の実施

- 社協の役割分担に基づき、社協が取り組むべき5ヵ年計画の具体的な事業や活動について協議し、素案づくりを行った。

④ 住民参加による地域福祉事業

ア ふれあいサロン活動支援（サロンへの助成及びサロン設立支援）（箇所）

圏域	行政区数	設置数	前年度設置数	比較増減	H29新規
八女	87	43	42	1	1
上陽	10	11	12	△1	0
黒木	50	51	45	6	7
立花	25	22	22	0	1
矢部	6	16	16	0	0
星野	8	9	10	△1	0
合計	186	152	147	5	9

イ ふれあいサロン支援者育成／ふれあいサロン支援者講座

期 間	会 場	回 数	参 加 者	内 容
8/21～9/11	八女	4	75名	①アイスブレイキングの実践とレク 道具の紹介 ②介護予防と暮らしの安全講座 ③講演「ふれあいサロンにできるこ と」、健康講座 ④サロンで手軽にできる季節の折り紙 講座
8/ 2～9/20	上陽	4	45名	
8/ 2～9/20	星野	4	62名	
8/ 8～9/11	立花	4	70名	
8/25～9/22	矢部	4	36名	
8/ 8～9/22	黒木	4	99名	
合 計		24回	387名	
前年度設置数		24回	342名	
比較増減		0	45名	

ウ 八女市ふれあいサロン支援者の会「サロントィア」への協力

エ ふれあいサロン支援者の会「杣の会」への協力

オ ふれあいサロン代表者会議

地域課題や生活支援ニーズ等について実態把握するため、サロンにおけるアセスメント調査の実施依頼を行った。

期 日	会 場	参 加 者
6月22日（木）	星野	13名
7月20日（木）	八女	30名
7月27日（木）	上陽	9名
7月27日（木）	立花	16名

カ 地区ふれあいサロン連絡会議

期間／期日	会 場	参 加 者
3月7日（水）	矢部	24名
3月7日（水）～15日（木）	八女	59名
3月 8日（木）	星野	10名
3月14日（水）	黒木	36名
3月15日（木）	上陽	11名
3月19日（月）	立花	24名

キ 実行委員会を立上げ、第30回黒木町社会福祉大会を開催した。

期 日	会 場	参 加 者
10月 7日（土）	ふじの里／黒木体育館	300名

⑤ 広報活動の強化

ア 広報紙「やめ社協だより」の発行（前年度12回発行／比較増減△1）

- 地域福祉活動や行事の案内、報告及び各種福祉情報を掲載することを目的に、年11回、「社協だより」を発行した。

イ ホームページの開設・更新

- ホームページの適切な管理に努め、最新の情報提供を行った。

⑥ 生活困窮者支援事業の推進

ア 生活福祉資金の貸付

資金種類	貸付額	件数
生活福祉資金（県社協貸付）	9,196,000円	12件
前年度貸付金額	7,314,000円	15件
比較増減	1,882,000円	△3件

イ 法外援護資金の貸付

資金種類	貸付額	件数
法外援護資金	684,075円	36件
前年度貸付金額	881,921円	44件
比較増減	△197,846円	△8件

ウ 福祉貸付金の貸付

資金種類	貸付額	件数
福祉貸付金（しょうがい）	0円	0件
前年度貸付金額	60,000円	1件
比較増減	△60,000円	△1件

エ 八女市社協フードバンク事業の実施

○ フードバンク事業の実施

県内のドラッグストア店と食料提供品に関する合意書の取り交わしを行い、生活困窮者等の支援を行った。

○ 子ども食堂への支援

名称	支援内容
八女子ども食堂さりげなく	福岡八女農業協同組合や市民、八女市内のドラッグストア店より提供いただいた米や食材等を各子ども食堂へ配布
チャイルドサポートネットワーク	
子ども食堂たちばな	
子ども食堂かたらんね	

オ 八女市社会福祉法人連絡会との連携

- 八女市内25の社会福祉法人による情報交換及び共有を図る場として、連絡会議を設置し、法人連携による地域福祉向上のための取り組み等について協議した。

期日	会議	内容
4月14日（金）	準備会	設立総会及び連絡会要綱案について協議
5月11日（木）	設立総会	八女市における社会福祉法人のネットワークづくりについて
7月24日（月）	役員会	今後の取り組みや連携について
9月22日（金）	役員会	第2回総会の内容について
9月29日（金）	総会	会員交流事業の実施について

11月15日（水）	施設見学及び交流会	八女の里見学 40名参加
11月25日（土）	各事業所の紹介及び講演会	法人の地域貢献について（大分大学衣笠教授）64名参加
3月7日（水）	役員会	連絡会の今後の取り組みについて

カ ふくおかライフレスキュー事業のサポーターの配置

- 制度対応できない課題に対応するため、社会福祉法人の専門性を活かし、生活困窮者等に対する相談や支援事業を行う「ふくおかライフレスキュー事業」の主たる担い手であるサポーターの養成研修を受講し、3名を配置した。

キ 家計相談支援事業の実施（市委託）（前年度利用契約者数2件/比較増減2件）

- 相談者が自ら家計を管理できるよう、状況に応じた支援計画の作成、相談支援、関係機関へのつなぎを行った。 利用契約者数 4件

⑦ 福祉教育の推進（全11件）（前年度10件/比較増減1件）

ア 福祉体験学習・講座への協力

期 日	学校名	内 容
6月9日（金）	輝翔館	介護疑似体験（車イス、アイマスク等）
6月30日（金）	福島小学校	視覚・聴覚しょうがい者との交流
7月7日（金）	八幡小学校	視覚しょうがい者との交流
9月12日（火）	上陽北浜学園	子ども民生委員受け入れ 高齢者との交流
9月15日（金）	立花小学校	視覚しょうがい者との交流
9月27日（水）	立花小学校	聴覚しょうがい者との交流
10月5日（木）	立花小学校	身体しょうがい者との交流・車いす体験
10月24日（火）	上妻小学校	車いす体験
1月23日（火）	黒木小学校	視覚・聴覚しょうがい者との交流
3月7日（水）	三河小学校	視覚・聴覚しょうがい者との交流
3月19日（月）	三河小学校	車いす体験

イ 福祉教育教材「ともに生きる」（前年度配布数2,146冊（3～6年生）/比較増減△1,613冊）

- 市内の小学校3年生を対象とし、533冊を配布した。

⑧ 家族のための介護について考える講座の開催（全5回）（前年度5回実施/比較増減0）

期 日	内 容	参加者
6月14日（水）	「補聴器のプロによる耳の健康について」	18名
7月12日（水）	「いざというとき役に立つ！自宅でできる応急手当」	22名
9月13日（水）	「上手なおむつの選び方・使い方について」	11名
10月11日（水）	「手軽にできる在宅介護者のための健康ストレッチ」	13名
11月7日（火）	「認知症の方との上手な関わり方」	14名

⑨ 各種福祉事業（団体）への活動支援

福祉事業名	活動支援団体
高齢者福祉事業	八女市老人クラブ連合会
	一人暮らし高齢者の会
	八女市在宅介護者の会「ひまわり」
しょうがい者福祉事業	八女市身体障害者福祉協会
	八女作業所
	八女市視覚障害者協会
	共同作業所ふくし邑
	はばたけ三つ輪の会（しょうがい児者と家族の会）
	こぶたの会（心身しょうがい児の療育を進める会）
	八女市聴覚しょうがい者協会
	精神障害者家族会
母子寡婦福祉事業	八女市母子寡婦福祉会 / 母と子のつどい事業
青少年健全育成事業	八女市子ども会育成会連絡協議会
	八女市青少年育成市民の会
その他福祉活動	福岡県共同募金会八女市支会
	日本赤十字社八女市地区
	八女市献血推進協議会
	八女市民生委員児童委員連絡協議会
	八女市保護司会
	八女市遺族連合会
	不登校・ひきこもり親（家族）の会

⑩ 各関係機関との連携

ア 介護長寿課と地域包括ケアシステム構築に向けた連携

八女市地域包括支援センター主催のケア会議やケース会議に参加し、関係機関と連携しながら、社協のサービスにつなげる等、個別・地域課題の解決に努めた。その他、本所・支所エリアにおいて実施された地域包括ケアシステム構築に向けた意見交換会に参加し、システム構築に向けた会議のあり方等について協議した。

イ しょうがい者相談支援事業所との連携

八女地区障害者基幹相談支援センターリーベル等の関係機関と連携しながら、しょうがい児者の個別課題の解決に努めた。

ウ 八女市民生委員児童委員連絡協議会との連携

校区民生委員児童委員協議会への参加及び各種事業の推進を行った。

⑪ 第2回八女市合同金婚式の実施

結婚50周年を迎えられた八女市内に居住の方を対象に、市全域で合同金婚式を実施した。

開催日／11月22日（水） 会場／ガーデンホール矢部川城 参加組／64組（前年度66組）

⑫ ボランティアセンター活動の推進

ア ボランティア講座の開催

○ 傾聴ボランティア養成講座の実施（全5回）

期 日	内 容	参加者
12月 8日（金）	心理的援助としての傾聴	15名
12月11日（月）	共感的な応答とは	11名
12月15日（金）	相談場面での対応	10名
12月18日（月）～21日（木）	実践的活動	9名
12月22日（金）	講演「災害時のこころのケアについて」	13名

イ 広報活動

やめ社協だよりの中で、ボランティアセンターに関する内容を掲載した。

ウ ボランティアコーディネート機能強化

ふれあいサロンへのボランティア派遣を中心とした需給調整をはじめ、ボランティア活動を希望する人等への対応を随時実施した。

○ ボランティアの派遣調整件数354件（前年度件数275件／比較増減79件）

エ ボランティアの育成及び活動の支援

活動支援団体	
点訳グループ「わかば会」	八女手話の会
要約筆記の会	音訳グループ「ふきのとう」
傾聴ボランティア「八女ダンボ」	給食ボランティア「陽の里会」
星野村地域サロンボランティアの会	星野村そよかぜボランティアの会
星野村音訳サークル「ゆうあい」	

オ ボランティア保険加入促進

○ 社協ボランティアセンターの登録者に対して、ボランティア保険の加入促進と助成を行った。

カ ボランティアのつどいの開催

○ 上陽地区温もりとほほえみのつどいの開催

実施日	内 容	参加者
10月15日（日）	講演「みんなで楽しもうレクリエーション」 講師 西九州大学ESRDサークル アトラクション 八女市ふれあいサロン支援者の会「サロンティア」	59名

キ 外出支援活動（福祉有償運送事業）の実施

○ 支援者数（ボランティア）

黒木支所 7名（前年度数12名／比較増減△5名）

矢部支所 4名（前年度数 4名／比較増減△0名）

○ 利用登録者数：

黒木支所56名（前年度数40名／比較増減 16名）

矢部支所38名（前年度数36名／比較増減 2名）

事業名	実施圏域	年度別	実施日数	延利用者数
福祉有償運送	黒木支所	本年度	278日	735名
		前年度	259日	672名
		比較増減	19日	63名
	矢部支所	本年度	112日	136名
		前年度	113日	130名
		比較増減	△1日	6名

ク 地域福祉型福祉サービスに対する支援

特定非営利活動法人上陽ライフネットワークが行う福祉有償運送事業の協力支援を行った。

ケ 災害ボランティアセンター視察研修の受け入れ

受入日	受入団体	受入数
6月 8日（木）	中津市民生委員児童委員連合協議会	15名

コ 災害ボランティアセンター運営支援のための職員派遣

○ 平成29年7月九州北部豪雨災害において、県社協からの要請を受け、現地ボランティアセンターの運営支援として、朝倉市、東峰村に職員を派遣した。

7月11日（火）～9月28日（木） 派遣人数 延べ266名

○ 被災地の復旧・復興を目的として、支援活動を行う災害ボランティア募集・送迎を行い、土、日、祝日に活動を実施した。 / 13日間実施 ボランティア数 69名

サ 災害時相互協力協定締結

○ 災害時に災害ボランティア活動などの被災者支援活動を協力して行うために、「特定非営利活動法人がんばりよるよ星野村」及び「特定非営利活動法人山村塾」と災害時相互協力協定を締結した。

シ ボランティア登録の推進

区分	個人	団体	総数
八女	9	31	312名
上陽	2	2	36名
黒木	3	7	114名
立花	4	0	4名
矢部	0	1	15名
星野	0	3	71名
市外	4	0	4名
合計	22名	44団体	556名

⑬ 八女市コミュニケーション支援事業（市委託）

障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業として聴覚しょうがい者への手話通訳派遣調整を行った。

○ 手話通訳利用件数 39件（前年度件数37件／比較増減2件）

○ 利用登録者 36名（前年度登録者数32名／比較増減4名）

○ 手話通訳者 28名（前年度通訳者数20名／比較増減8名）

⑭ 地域介護予防支援事業（市委託）

ア 介護予防に関する講師派遣事業

○ 健康運動指導士派遣事業の開催

市内ふれあいサロン会場への健康運動指導士の派遣（延べ99件）

区 分	八女	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
平成29年度	25	9	23	11	17	14	99件
前年度派遣数	24	5	13	14	13	24	93件
比較増減	1	4	10	△3	4	△10	6件

○ 歯科衛生士派遣事業の開催

市内ふれあいサロン会場への歯科衛生士の派遣（延べ35件）

区 分	八女	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
平成29年度	11	3	7	6	6	2	35件
前年度派遣数	9	2	8	8	8	2	37件
比較増減	2	1	△1	△2	△2	0	△2件

○ 栄養士派遣事業の開催

市内ふれあいサロン会場への栄養士の派遣（延べ30件）

区 分	八女	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
平成29年度	12	4	1	4	7	2	30件
前年度派遣数	7	5	0	4	9	4	29件
比較増減	5	△1	1	0	△2	△2	1件

○ 認知症予防派遣事業の開催

サロンで簡単に取り組める認知症予防知識の講話や実技指導（延べ47件）

区 分	八女	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
平成29年度	12	3	12	5	10	5	47件
前年度派遣数	6	2	7	9	9	6	39件
比較増減	6	1	5	△4	1	△1	8件

イ 地域介護予防サポーター養成講座の開催

本年度から各支所において、動画配信による受講を開始。

期 間	会 場	回 数	内 容	参加者
1月24日（水）～ 3月14日（水）	本所・各支所	8回	介護予防に関する講義、運動 実技	449名

ウ 地域介護予防講演会の開催

本年度から各支所において、動画配信による受講を開始。

期 日	会 場	回 数	内 容	参加者
3月8日（木）	本所・各支所	1回	講義 介護予防の必要性について	102名

エ 地域福祉係・在宅福祉係合同視察研修

期 日	会 場	内 容
7月10日（月）	みやま市社協 山川支所	介護予防事業の取り組みについて
9月28日（木）	基山町役場	

⑮ 八女市介護人材バンク事業（市委託）

ア 八女市介護人材バンク登録者数 131名（前年度登録者数68名／比較増減63名）

イ 各種研修会の開催

○ ガイドヘルパー養成講座の開催（全2回）

実施日	内 容	受講者	修了書取得者
8月26日（土）	全身性しょうがい者の外出支援・介護	30名	30名
8月27日（日）			
前年度数		16名	16名
比較増減		14名	14名

○ 同行援護従業者養成研修講座の開催（全3回）

実施日	内 容	受講者	修了書取得者
9月 2日（土）	視覚しょうがい者の外出支援・情報提供	16名	16名
9月 9日（土）			
9月30日（土）			
前年度数		14名	14名
比較増減	2名	2名	

○ 介護職員初任者研修講座の開催（通信制）

実施日	内 容	受講者	合格者
夜・土曜日のコース（10/7 ～12/2）／20日間（夜間11 日、土曜9日）	介護に必要な知識・技術の習得	12名	12名
昼のコース（10/4～11/29） 14日間		12名	12名
前年度数		24名	23名
比較増減		0名	1名

ウ 福岡県福祉人材センター（福祉人材無料職業紹介所）との連携

- 各種研修会受講生に福岡県福祉人材センターについての紹介を行った。
- 福岡県福祉人材センター筑後地区福祉人材バンクの相談員が介護職員初任者研修講座受講生に福祉人材バンクの事業について説明を行った。

エ 登録者への情報提供

- 各種研修会をはじめ、介護関係の情報提供を行った。

⑩ 生活支援体制整備事業（市委託）

生活支援コーディネーターを配置し、関係機関及び団体と連携しながら、生活支援体制の整備をすすめた。

ア 生活支援コーディネーターの配置 7名

- 内訳／第1層生活支援コーディネーター（市全域） 1名
第2層生活支援コーディネーター（本所・支所1名） 6名

イ 地域ニーズと資源の状況の見える化、問題提起（調査・分析）の実施

- ふれあいサロンに継続的に通い、住民主体の活動状況把握と高齢者の生活ニーズや生きがいについてアセスメントを実施。
本所：20カ所 上陽：11カ所 黒木：51カ所 立花：19カ所
矢部：15カ所 星野：11カ所
- 地域包括支援センターに専門職として感じる高齢者の地域課題、生活課題を聞き取り。
- 第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定の各調査結果報告書及び会議を通じて、地域の生活課題を把握。

ウ 地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ（事業の啓発）

- 校区民生委員児童委員協議会定例会や福祉部会及び福祉ネットワーク推進委員会の住民会議に出向き、生活支援体制整備事業及び生活支援の必要性等について説明。
- 介護予防に関する取組みについて説明。

エ 関係者のネットワーク化

- 各関係機関をはじめ、生活支援に関わっている事業所（エフコープ生協等）と情報交換会を開催した。
- 地域ケア会議等で地域課題や生活支援ニーズ等に関する情報交換を行った。

オ 介護予防事業に関する研究

- 介護保険制度改正にともなう、新しい総合事業への移行に対応するため、通所サービスC事業卒業者の受け皿づくり等、社協として対応できる介護予防事業について、生活支援コーディネーター及び在宅福祉係長による事業推進会議等を通じて、共同研究を行った。

カ 事業実績

期 日	内 容
4月 6日（木）	上妻地区民児協定例会にて生活支援体制整備事業周知の説明
4月19日（水）	平成29年度福岡県生活支援コーディネーター連絡会
4月26日（水）	平成29年度生活支援体制整備事業にかかる打合せ
5月 2日（火）	エフコープ生協との生活支援に関する打合せ会①
5月 8日（月）	第1回第1層・第2層生活支援コーディネーター打合せ
5月16日（火）	日常生活圏域ケア会議
6月 2日（火）	地域福祉係長・在宅福祉係長合同会議

6月 5日 (月)	第1回介護長寿課と第1層・第2層生活支援コーディネーター打合せ 第2回第1層・第2層生活支援コーディネーター打合せ
6月 6日 (火)	八女市民児協校区会長会にて事業説明依頼 八幡地区民児協定例会にて生活支援体制整備事業周知の説明
	忠見地区民児協定例会にて生活支援体制整備事業周知の説明
6月 7日 (水)	川崎地区民児協定例会にて生活支援体制整備事業周知の説明
6月 8日 (木)	福島地区民児協定例会にて生活支援体制整備事業周知の説明
6月 9日 (金)	長峰地区民児協定例会にて生活支援体制整備事業周知の説明
	三河地区民児協定例会にて生活支援体制整備事業周知の説明
6月10日 (土)	岡山地区民児協定例会にて生活支援体制整備事業周知の説明
6月13日 (火)	星野地区民児協定例会にて生活支援体制整備事業周知の説明
6月14日 (水)	立花地区民児協定例会にて生活支援体制整備事業周知の説明
6月15日 (木)	在宅福祉係合同会議
6月20日 (火)	日常生活圏域ケア会議
6月22日 (木)	サロン代表者会議開催 (星野)
7月 5日 (水)	矢部地区民児協定例会にて生活支援体制整備事業周知の説明
7月10日 (月)	地域福祉係・在宅福祉係合同視察研修 (みやま市社会福祉協議会山川支所) / 上陽地区民児協定例会にて生活支援体制整備事業周知の説明
7月12日 (水)	黒木町民児協定例会にて生活支援体制整備事業周知の説明
7月19日 (水)	平成 29 年度福岡県生活支援コーディネーター連絡会
7月20日 (木)	サロン代表者会議開催 (本所)
7月21日 (金)	エフコープ生協との意見交換会②
7月27日 (木)	サロン代表者会議開催 (上陽、立花)
7月27日 (木)	黒木地区民生委員・福祉委員合同研修会にて生活支援体制整備事業周知の説明
7月28日 (金)	地域包括支援センター管理者との意見交換会
8月10日 (木)	平成29年度福岡県生活支援コーディネーター学習会
8月17日 (木)	在宅福祉係会議
8月22日 (火)	県内のドラッグストア店とフードバンク及び生活支援に関する連携について協議
9月 1日 (金)	平成29年度福岡県生活支援コーディネーター養成研修会①
9月 4日 (月)	第1層・第2層生活支援コーディネーター・在宅福祉係長合同会議
9月 6日 (水)	平成 29 年度福岡県生活支援コーディネーター養成研修会②
9月 7日 (木)	サロンアセスメント事務打合せ
9月14日 (木)	エフコープ生協との意見交換会③
9月19日 (火)	第1層・第2層生活支援コーディネーター・在宅福祉係長合同会議 事前打合せ
9月19日 (火)	日常生活圏域ケア会議
9月21日 (木)	第1層・第2層生活支援コーディネーター・在宅福祉係長合同会議
9月21日 (木)	八女市地域包括ケアシステム構築に向けた意見交換会 (旧八女市)
9月22日 (金)	介護長寿課との介護予防事業に関する意見交換会①
9月25日 (月)	八女市地域包括ケアシステム構築に向けた意見交換会 (上陽・黒木・矢部)
9月27日 (水)	八女市地域包括ケアシステム構築に向けた意見交換会 (立花・星野)

9月28日（木）	地域福祉係・在宅福祉係合同視察研修（佐賀県基山町役場）
10月12日（木）	介護長寿課との介護予防事業に関する意見交換会②
10月12日（木）	第1層・第2層生活支援コーディネーター・在宅福祉係長合同会議
10月18日（水）	平成29年度生活支援コーディネーター連絡会
10月20日（金）	サロンアセスメント事務打合せ②
11月 7日（火）	小地域ケア会議
11月21日（火）	日常生活圏域ケア会議
12月 7日（木）	第1層・第2層生活支援コーディネーター・在宅福祉係長合同会議
12月19日（火）	矢部地区買物支援打合せ①
12月22日（火）	矢部地区買物支援打合せ②
1月11日（木）	矢部地区買物支援打合せ③
1月17日（水）	平成29年度生活支援コーディネーター連絡会
1月23日（火）	日常生活圏域ケア会議
1月24日（水）	平成29年度介護予防サポーター養成講座①
1月26日（金）	小地域ケア会議
1月31日（水）	平成29年度介護予防サポーター養成講座②
2月 7日（水）	平成29年度介護予防サポーター養成講座③
2月13日（火）	エフコープ生協との意見交換会④
2月14日（水）	平成29年度介護予防サポーター養成講座④
2月19日（月）	サロンアセスメント事務打合せ③
2月21日（水）	平成29年度介護予防サポーター養成講座⑤
2月28日（水）	平成29年度介護予防サポーター養成講座⑥
3月 5日（月）	サロン支援者の会「サロンティア」へ生活支援体制整備事業説明
3月 7日（水）	平成29年度介護予防サポーター養成講座⑦
3月 8日（木）	平成29年度地域介護予防講演会
3月 9日（金）	平成29年度八女市社会福祉協議会職員研修会にて、生活支援体制整備事業実績報告
3月13日（火）	日常生活圏域ケア会議
3月14日（水）	平成29年度介護予防サポーター養成講座⑧

（3）福祉サービス利用援助事業

① 日常生活自立支援事業（八女あんしんサポート事業）の推進

認知症高齢者やしょうがい者の福祉サービス利用手続きや日常的金銭管理等を実施した。

ア 専門員・生活支援員の配置

- 専門員3名（前年度数3名／比較増減0）、生活支援員41名（前年度数43名／比較増減△2）を配置し、県基幹型社協として運営した。

イ 生活支援員研修会の実施（前年度回数2回／比較増減0）

期 日	研修種類	内 容	参加者
8月 2日（水）	外部研修	「日常生活自立支援事業概要と県内の実施状況について」	7名
12月25日（月）	外部研修	「日常生活自立支援事業における精神・知的しょうがい者の生活支援について」	6名

ウ 契約の状況 総数73名（前年度契約者数83名／比較増減△10名）

区分	本所	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
認知症高齢者	11	0	7	3	4	3	28名
前年度契約数	9	1	10	4	2	4	30名
比較増減	2	△1	△3	△1	2	△1	△2名

区分	本所	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
知的しょうがい者	13	1	3	1	1	2	21名
前年度契約数	16	1	2	3	0	3	25名
比較増減	△3	0	1	△2	1	△1	△4名

区分	本所	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
精神しょうがい者	15	1	7	0	0	1	24名
前年度契約数	20	1	6	0	0	1	28名
比較増減	△5	0	1	0	0	0	△4名

区分	本所	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
①新規	3	0	5	3	4	1	16名
前年度契約数	13	0	6	2	0	5	26名
比較増減	△10	0	△1	1	4	△4	△10名
②解約	5	1	4	5	0	1	16名
前年度解約数	5	0	3	1	1	1	11名
比較増減	0	1	1	4	△1	0	5名

エ 利用契約者への支援回数（複数） (件)

支援内容	本所	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
生活費等の受渡し	1,079	37	352	40	58	284	1,850
各種支払い	648	46	507	77	31	118	1,427
生活費等を金庫保管	230	0	18	1	16	4	269
相談・調整	36	0	126	1	9	72	244
行政・福祉サービスの手続き	23	0	56	15	0	11	105
支援者会議等への出席	3	0	9	2	1	2	17
事業の問合せ	0	0	1	0	0	1	2
成年後見制度の問合わせ	1	0	1	0	0	1	3
入金(給料等)	160	2	20	6	1	3	192
通帳等一時持ち出し	3	0	1	0	23	1	28
その他	7	2	44	1	4	44	102
合計	2,190	87	1,135	143	143	541	4,239

※平成29年度より上記支援内容の集計にて、前年度数、比較増減の記載なし。